

## 環境変化へのスピードある 対応を目指して！

(チッソ旭肥料は製販一体の会社へ)

チッソ旭肥料株式会社

代表取締役社長 佐藤 健



新年明けましておめでとうございます。  
2007年の年頭に当たりご愛読者の皆様のご多幸と  
ご繁栄をお祈り申し上げます。

昨年は日本経済が回復軌道に乗っていると言われつつも、一般消費者の消費量拡大に結びつく効果が小さかった状況といえます。特に農産物の価格低迷が続いていることは農業生産者の経営への影響が大きいといえます。更に春季、夏季の天候不順、台風被害なども加わった特異年といえるでしょう。本年こそは平年並み以上の天候と作柄を期待したいものです。

弊社は昭和44年(1969年)にチッソ(株)と旭化成ケミカルズ(株)(当時:旭化成工業(株))の両社が製造した肥料の販売会社として設立され、これまで農家需要に応えられる各種の肥料や園芸用培土などを販売し、加えて新施肥技術の開発や情報の提供などを積極的に展開してまいりました。農業を取巻く環境が年々厳しくなり、且つその変化のスピードが速まっております。これらの変化の中で農家需要へ迅速適時に対応することが生き残り策として重要であることから、弊社は2007年1月1日より次のような体制変更を行うことになりました。

「チッソ旭肥料(株)に両親会社(チッソ、旭化成ケミカルズ)の製造、研究開発、管理を一元化する事業統合により製販一体の会社となります。」この新体制で農家需要へのスピードある対応を行います。

弊社は農家需要に対応する各種の化成肥料を主体とした商品を取り揃えております。野菜、果樹などで人気商品の「燐硝安加里<sup>®</sup>」、「あさひポーラス<sup>®</sup>」、緩効性肥料の代表格として幅広い場面で使用されている「CDU<sup>®</sup>」と新商品の「ハイパーCDU<sup>®</sup>」、打ち込み型根圏施肥肥料の「グリーンパイル<sup>®</sup>」、「ロングパイル<sup>®</sup>」、園芸用床土資材の「与作<sup>®</sup>」などがあります。特に他社に先駆けて開発したコーティング肥料の「ロング<sup>®</sup>」、「LPコート<sup>®</sup>」は施肥省力化、収量、品質の安定化と向上、肥料利用率向上による環境負荷低減など幅広い需要への対応資材として、ご活用して頂いております。農業生産現場の需要から生まれたロングやLPコート入りなどの「全量基肥一発施肥」、農水省の「生産資材コスト低減成果重視事業」の技術として紹介されている水稻の「育苗箱全量施肥」などが代表的な例です。これらの施肥技術は農業関係者の皆様様の発案、各県試験場・農業技術指導機関等での積極的な施肥試験、農業団体(農協、経済連、全農など)、地元肥料メーカー等々のお取り上げにより今日の普及拡大をみており、深く感謝申し上げます。これらの機能商品を更に進化させ、日本の農業に貢献し続けられる企業として開発努力を継続発展させてまいります。

新体制でスタートするチッソ旭肥料(株)に今後ともご支援、ご鞭撻を賜ります様、お願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。